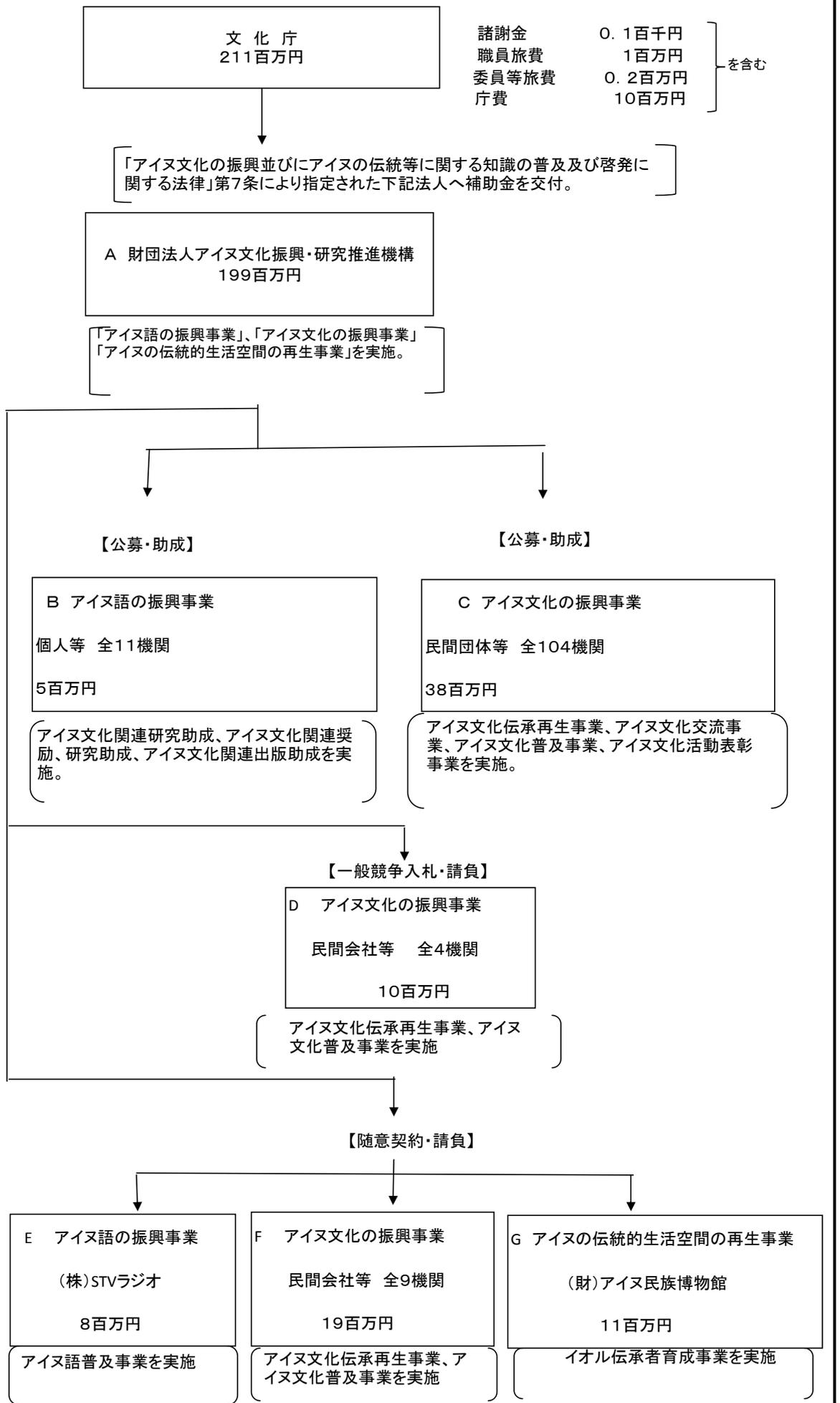


行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	アイヌ関連施策の推進	事業開始年度	平成9年度	作成責任者		
担当部局庁	文化庁	担当課室	伝統文化課	伝統文化課長 白間 竜一郎		
会計区分	一般会計	上位政策	文化財の保存及び活用の充実			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」	関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針 第2次基本方針 (平成19年2月9日閣議決定)他			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」の目的であるアイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現を図るため、指定法人である(財)アイヌ文化振興・研究推進機構に対して、補助金を交付し、アイヌ文化の振興等を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」に基づき、同法で規定された業務を行う財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構に対して、補助を行う(補助率:1/2)。 1. アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進事業 2. アイヌ語の振興事業 3. アイヌ文化の振興事業 4. アイヌの伝統的生活空間の再生事業					
実施状況	<p>補助事業名:アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進 (1)アイヌ関連総合研究等助成事業 助成件数 11機関 助成総額 10,239千円</p> <p>補助事業名:アイヌ語の振興事業 (1)アイヌ語教育事業 ア)指導者育成 講師会議 4回 スクーリング 3回 イ)上級講座 5ヶ所 計64日間 受講者計35名 ウ)親子のアイヌ語学習 5ヶ所 計105日間 受講者計50名 エ)アイヌ語教育整備事業 検討委員会 4回 (2)アイヌ語普及事業 ア)ラジオ講座 本放送 週1回、再放送 週1回 テキスト作成 16,000部 イ)弁論大会 1回 発表者50名 審査委員4名</p> <p>補助事業名:アイヌ文化の振興事業 (1)アイヌ文化伝承再生事業 ア)マニュアル作成 イ)実践上級講座 ・伝統文化(木彫・刺繍等)指導者育成 22会場 273名 ・口承文芸伝承者(語り部)育成 8箇所 計91日間 ウ)伝統工芸複製助成 助成件数 40件 助成総額 13,071千円 (2)アイヌ文化交流事業 ア)国内文化交流事業 助成件数 80件 助成総額 49,587千円 イ)国際文化交流助成 助成件数 5件 助成総額 8,088千円 (3)アイヌ文化普及事業 ア)伝統工芸展示・公開助成 助成件数 15件 助成総額 5,489千円 イ)アドバイザー派遣 委嘱アドバイザー 284名 ウ)工芸品展 1)展覧会 3ヶ所 計156日間 観覧者計26,902人 2)常設展 エ)文化フェスティバル 4ヶ所 計4日間 来場者数 2,290人 (4)アイヌ文化活動表彰事業 ア)工芸作品コンテスト 優秀3点, 入選3点, 奨励賞10点 表彰式1回 イ)アイヌ文化賞 選考委員会1回</p> <p>補助事業名:アイヌの伝統的生活空間の再生事業 (1)体験交流指導者育成事業 受講者13名 (2)伝承者育成事業 受講者 8名 受講日数 240日間</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	235	215	228	210	210
	執行額	204	202	211		
	執行率	86.8%	94.0%	92.5%		
	総事業費(執行ベース)	408	404	399		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	財回事業の実施状況については、現地で立会して確認を行っている。 補助金の執行については、年度ごとに財団から提出される実績報告書において、助成先・助成内容等を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 また、書類でのチェックのみではなく、補助金執行状況に係る実地検査を毎年行い、実績報告書と財団にある証拠書類を突合し、実績報告書の記載内容が適切かどうかを確認した上で、額確定を行っている。また、実地検査の際に、助成事業の事務の流れ等も確認し、より適正な事業が実施されるよう、指導を行っている。				
	見直しの余地	「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」の報告書を受け、内閣官房設置のアイヌ政策推進会議において、アイヌの人々の意見等を踏まえた総合的、効果的なアイヌ政策の推進に係る議論が進められていることから、議論の内容を踏まえた事業の在り方を検討する必要がある。				

<p>予 算 監 視 の 効 率 化</p>	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」に基づき、アイヌ文化の振興を図るため、指定法人が実施する業務に対し補助を行う公益法人向けの補助事業であり、長期継続事業の観点から検証する。</p> <p>2. 所見:本事業は、法律に基づく唯一の指定機関が実施する事業であるものの、事業開始から既に14年目を迎えており、これまでの事業実施の成果を検証するとともに、より効率的な事業実施に努めることで、予算を縮減すべきである。</p>
<p>補 記</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.(財)アイヌ文化振興・研究推進機構			F.(株)札幌映像プロダクション		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	アイヌ文化の振興事業等実施	48	役務	DVD版製作、本製作(クチャ具)	6
助成金	アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進事業、アイヌ文化の推進事業	43			
人件費	職員人件費	28			
旅費	委員旅費、職員旅費	18			
諸謝金	協力者への謝金	14			
物件費	消耗品等	11			
報償費・副賞	弁論大会における副賞費等	9			
借損料	会場使用料等	7			
印刷製本費	ポスター、テキスト、パンフレット、報告書の印刷	6			
その他	通信運搬費等	15			
計		199	計		6
C.社団法人北海道アイヌ協会旭川支部			G.(財)アイヌ民族博物館		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	外国旅費、日当、宿泊料等	2	役務	イオル伝承者育成事業	11
その他	消耗品費、通訳料、諸謝金等	1			
計		3	計		11
D.(株)アド・ビューロー岩泉					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	フェスティバル東京会場運営	3			
計		3	計		0
E.株式会社STVラジオ					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	ラジオ講座年間放送	8			
計		8	計		0

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

ブロックB アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進事業

	支出先	支出額(百万円)
1	個人A	0.7
2	個人B	0.7
3	個人C	0.7
4	個人D	0.7
5	個人E	0.6
6	故林昇太郎氏遺作論集刊行会	0.5
7	「蝦夷地アイヌ地名集積」共同製作グループ	0.3
8	個人F	0.2
9	個人G	0.2
10	楽しくやさしいアイヌ語教室	0.1
	その他	0.3
合計		5

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

ブロックC アイヌ文化の振興事業

	支出先	支出額(百万円)
1	北海道アイヌ協会旭川支部	3
2	北海道アイヌ協会	3
3	北海道アイヌ協会札幌支部	2
4	北海道アイヌ協会苫小牧支部	1
5	北海道アイヌ協会登別支部	1
6	社団法人松本青年会議所	1
7	西表文化交流推進会	1
8	武四郎まつり実行委員会	1
9	アイヌ・ラマツト実行委員会	1
10	長岡地区自治振興会	1
	その他	23
合計		38

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

ブロックD アイヌ文化の振興事業

	支出先	支出額(百万円)
1	株式会社 アド・ビューロー岩泉	3
2	株式会社 ピーアールセンター	3
3	株式会社 ノヴェロ	2
4	株式会社 NHKプラネット北海道支社	2
5		
6		
7		
8		
9		
10		
合計		10

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

ブロックF アイヌ文化の振興事業

	支出先	支出額(百万円)
1	株式会社 札幌映像プロダクション	6
2	日本通運株式会社 札幌西支店	5
3	株式会社 北海道録画センター	3
4	しらおいアイヌ文化フェスティバル実行委員会	2
5	北海道アイヌ協会	2
6	株式会社 京都新聞COM	0.4
7	株式会社 アド・ビューロー岩泉	0.4
8	有限会社 チカルスタジオ	0.3
9	株式会社 ジェイ・アイ・シー	0.1
合計		19

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。